

果樹カメムシ情報第1号

平成25年4月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

果樹カメムシの飛来数は6月末まで少ない

1 平成25年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果

果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシ（図1）の越冬成虫密度調査を県内15地点で行った結果、いずれの地点においても越冬成虫は確認されず（表）、平成17年、23年に並び過去10年で最も少ない越冬密度でした。越冬成虫密度は、5～6月の予察灯における誘殺数（＝発生量）の予測に利用できます（図2）。

2 飛来の予測

今年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度から、今年6月末までの果樹カメムシ類の飛来数は少ないと予測します。

表 チャバネアオカメムシ越冬成虫密度（平成25年）

調査地点	成虫密度 (頭/m ²)
幸田町大字須美北山北	0.0
幸田町大字須美北山東	0.0
新城市大海	0.0
新城市市川	0.0
新城市中宇利	0.0
新城市稲木	0.0
豊橋市嵩山	0.0
豊橋市石巻中山	0.0
豊橋市石巻萩平	0.0
豊橋市石巻平野	0.0
豊橋市小野田	0.0
豊川市平尾	0.0
豊川市千両	0.0
豊川市足山田	0.0
豊川市金沢	0.0
平均	0.00
発生確認地点数(割合)	0 (0%)



図1 チャバネアオカメムシ

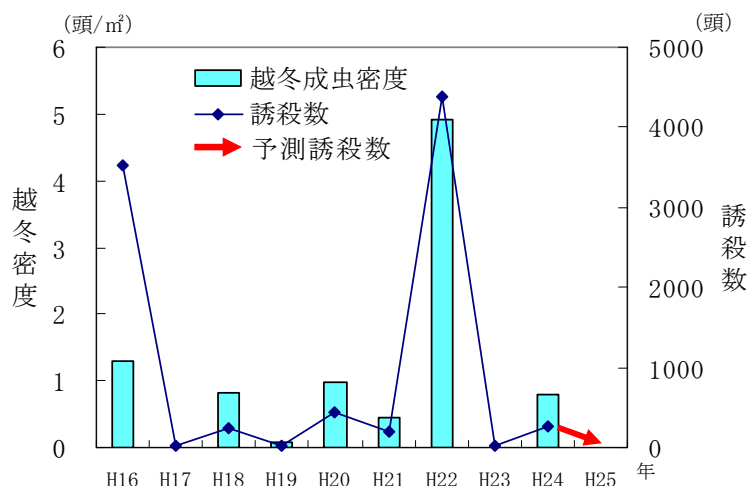


図2 チャバネアオカメムシの平均越冬成虫密度と予察灯における誘殺数（豊橋・新城5～6月の合計）の関係